

自分たちの地域を自分たちで
守るために

大規模地震 想定防災訓練

危機管理課危機管理係 ☎0824-73-1206

市庄原消防署・庄原市消防団庄原方面隊が主催する「大規模地震想定防災訓練」が3月18日、宮内町の美湯ハイツで実施されました。

当日は、美湯ハイツ自治会やゆうしゃいん庄原など地域住民、庄原市赤十字奉仕団などボランティア団体も参加し、あわせて約200人が訓練に参加しました。

県北部を震源とするマグニチュード7の地震が発生し、庄原市で震度6強を観測したとの想定のもと、現場指揮本部の設置、はしご車を利用した高層建物避難、炊き出し、応急給水などの訓練を実施。参加者は、本部からの指揮を受けながら、それぞれの役割を真剣に取り組んでいました。



現場指揮本部



がれきの下敷きになった車から人形を救助する消防署員



バケツリレー



炊き出し



土のう作業



救助のようす



給水訓練



美湯ハイツ自治会会長

さかたとらみ
坂田虎美さん

庄原ゲリラ豪雨や東日本大震災から共助の必要性を思い知らされました。自主防災組織を立ち上げるにあたり、私たち自治会も思っているだけでなく、いざというときに初動がとれなければという思いでいました。今回の訓練は、どういった状況で行えばいいか、救援救助や連絡体制などでも勉強になりました。災害はいつ起きるかかわからないという認識で住民同士のつながりを強めていきたいと思えます。



庄原市赤十字奉仕団委員長

てらおかたかゆき
寺岡隆行さん

市内で行われる災害訓練には毎回参加し、自主防災組織や消防団などと一緒にボランティア活動を行っています。今日は11人で150食分の炊き出し訓練を行いました。訓練に参加するのは、私たちのようなボランティア団体がいることを知ってもらいたいという思いもあります。活動する人が減ってきていますが、私たちと一緒に活動してくれる仲間が増えれば、災害時にも大きな力になれると思います。



庄原市消防団団長

かみはらきよし
上原清司さん

災害から身を守るためには自助はもちろん、訓練での共助力を高めることがとても重要です。どうすればいいのかをしっかりと考えるきっかけにしてもらいたいと思います。



まついみつはる しゅんすけ
松井光晴さん・俊輔くん

(美湯ハイツ在住)

これまで防災訓練には参加したことはありませんが、こういった本格的なものは初めてです。この訓練をもとに、防災について地域で考える機会になればいいですね。